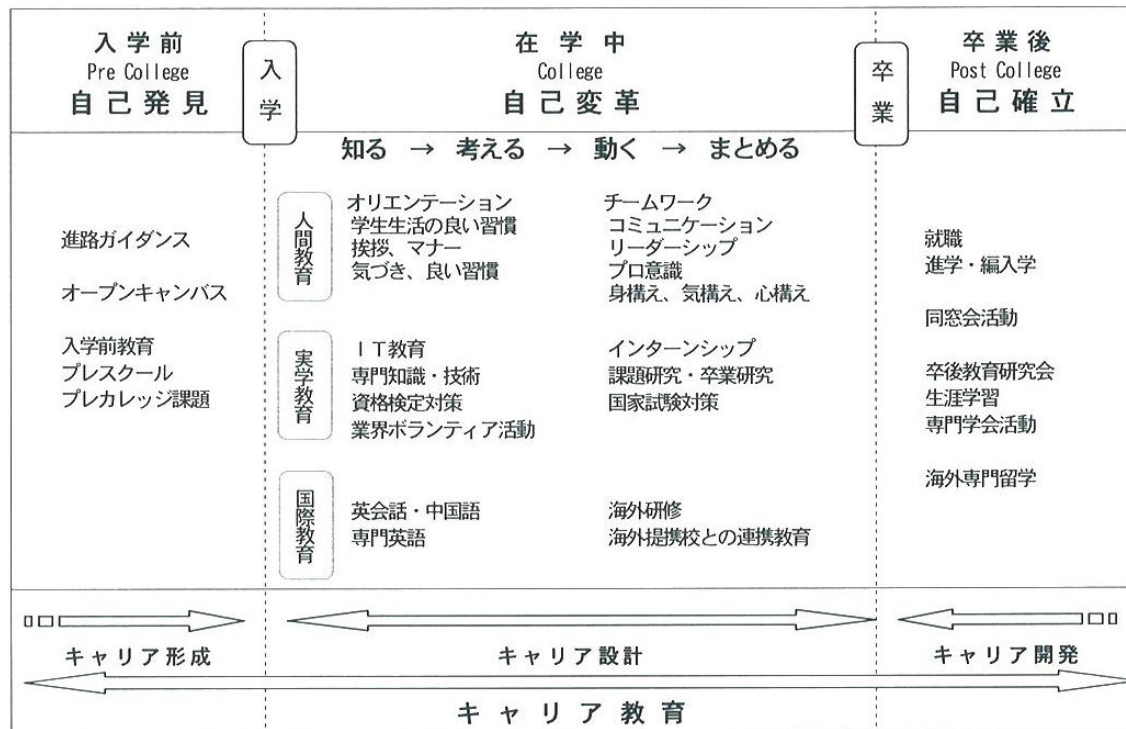


教育システムと教育スケジュール

(1) 教育指導システム



本校の教育システムは、建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」に基づき、入学前から在学中、卒業後まで連続したステップアッププログラムとして構築されている。

第一段階である入学前は、中学校・高等学校など入学までの様々な教育や体験を通して、「将来このような人物になりたい」という将来目標を見いだす『自己発見』の時期である。この時期には、進路ガイダンスやオープンキャンパスなどを通して進路決定を行うので、自身の進むべき道を考える『キャリア形成』の時期でもある。入学決定後は、入学までの期間をプレスクールへの出席やプレカレッジ課題などの入学前教育に取り組み、有意義に過ごせるようになっている。

第二段階である在学中は、専門分野のスペシャリストとして社会に巣立つまでの『自己変革』の時期である。入学してすぐのオリエンテーションでは、学生生活を成功に導く3つの習慣（「主体性を持つ習慣」「目的を持って始める習慣」「重要事項を優先する習慣」）について学び、また挨拶やマナーの重要性について理解する。さらに、専門的な知識・技術の習得、資格の取得はもちろんのこと、学外実習や卒業研究などを通して、チームワークの大切さを知り、コミュニケーション力を養って、社会人となるための身構え、気構え、心構えを確立していく。また、外国語教育や海外研修などを通じて、国際的に通用する広い視野を学んでいく。この在学中の時期は、卒業後の働き方、学び方を考え、将来設計していく『キャリア設計』の時期である。学習内容や資格取得をはじめ、学生生活そのものが卒業後の人生につながることを意識して、悔いのない学生生活を送ってほしい。

学生生活の基本は、生活習慣と学習習慣である。特に入学後早い時期に学ぶ基礎科目は、主要な資格や卒業後の専門分野につながる重要な科目であるので、怠りなく取り組んでほしい。また、在学期間中の様々な学校行事はそれぞれに目的を持って組み立てられているので、その意義を理解して積極的に学生生活を送ってほしい。

教育システムの第三段階は、卒業後の『自己確立』の時期である。在学期間中に習得した知識や技術は専門分野で活躍する土台となるものであるが、卒業後も継続して学び、向上して行くことが大切であることは改めて言うまでもない。本校では同窓会を中心に、卒業教育についても充実を図っている。また、大阪滋慶医療経営管理

研究センターでは、卒業生や業界で働く人々を対象にした生涯教育の様々な教育プログラムを実施しているので、これらを積極的に活用して、プロのスペシャリストとして活躍してほしい。このように、卒業後の期間は、在学中に計画した自分自身のキャリアをさらに発展させる『キャリア開発』の時期とも言える。生涯にわたって自分のキャリアを育て、成長し続けられるよう、学園として支援体制を整えている。

本校では、入学前から卒業後までを一貫した「キャリア教育」として捉え、学生個々人の生き方、学び方、働き方を支援しているので、充実した学生生活を送れるように努力を重ねてほしい。

(2) 海外研修プログラム

本校では2年次（社会福祉科においては3年次）のカリキュラムの一環として、海外研修プログラムを取り入れている。このプログラムの目的は、海外における技術教育と実務の現状を実際に体験して、それまでに学んだ知識や技術の重要性を再確認し、さらに国際交流を通じて豊かな人間性を育むことである。

各学科の海外研修先は、以下の通りである。（平成27年度実施）

①看護学科

ゴンザガ・カレッジ（ワシントン州スポケーン市）

セイクレッドハート病院、リバービュー特別養護老人ホーム 等を見学

②介護福祉科

ピアース・カレッジ（ワシントン州タコマ市）

タコマ・ルーテルホーム高齢者施設、フランキー・トビー・ジョーンズ高齢者施設 等を見学

③社会福祉科

ロマリнда・ユニバーシティ（カリフォルニア州サンバーナーディーノ市）

パットン州立精神科刑務所病院・ボーイズ&ガールズクラブ学童保育所 等を見学

④保健保育科

シティ・カレッジ・オブ・サンフランシスコ（カリフォルニア州）

リトルスター・プレスクール、アーゴン早期教育学校

⑤医療秘書・情報科

ピアース・カレッジ（ワシントン州タコマ市）

聖クレア病院、フランシスカン・ホスピス・ハウス 等を見学

(3) 生涯教育システム

本校の母体である学校法人 大阪滋慶学園では「滋慶医療経営管理研究センター」を設けている。ここでは在校生や卒業生、その保護者のみならず地域の方々を始めとする一般の方々にも生涯教育の機会を提供している。特に卒業生に対しては、リフレッシュ実務教育セミナーを実施している。時々刻々、変化を遂げている保健、医療、福祉分野で働く卒業生たちに新しい技術や知識を学ぶ場を提供し、時代のニーズに対応できる人材として積極的かつ自立的に学んでいけるようにバックアップしていくことが目的である。

(4) 大学編入

本校では、学生の卒業後の進路指導の一環として、大学編入への対策指導を行っている。専門学校での学習をもとに、大学に編入してより深く知識を学習しようという意欲がある学生に対して、本校よりさまざまな資料を提示し、進路の選択を援助している。編入学希望の学生は、クラス担任および保護者と相談の上、早期より準備を進めることが必要である。